

eラーニング「事前学習」の改善と今後の方針について

1. システムについて

(1) LMS（「テスト」のシステム）

<受講者アンケート結果>

- 取り組みにくかった理由（回答者7人、複数回答）

画面が見づらい：6人

システムの使い方が分かりにくい：3人

操作がしにくい：3人

- 自由意見：

| | |
|---|----------------------------------------------------------------|
| 1 | PCのディスプレイの問題かもしれませんが、画面サイズ（表示）が見づらかったです。 |
| 2 | Adobe Flash Playerがウイルス感染の恐れがあり、職場でインストールできないため、一部機能が使えませんでした。 |

<運営上の課題>

- 受講者の登録に5営業日かかるため、受講確定以降のキャンセルや受講者の追加に迅速に対応できない。
- ログの入手に5営業日必要で、迅速に集計・結果の提供ができない。
- 問題数が8問に限定されているため、9問以上続けて出題できない。
- 修了証の発行機能がない。
- 分析に必要なログが入手できない。
 - 回答にかかった時間
- 画面レイアウトが悪い、文字が小さい、レイアウト変更、カスタマイズが不可能など表示画面の自由度が低く、受講者にとって分かりにくく、操作しにくい。

次年度の対応（案）

- 上記問題点を踏まえ、より適切な「LMS」がないか調査する

(2) 「教材」のシステム

<受講者アンケート結果>

- 教材の各種機能の利用状況（閲覧、マーカー機能）
利用した：50.9%、利用しなかった：49.1%
- 教材の利用しやすさ
利用しにくい：14.3%（4人）
どちらかといえば利用しにくい：17.9%（5人）
- 教材の利用しにくい理由（回答者9人、複数回答）
画面が見づらかった：6人
使い方は分かったが、操作がしにくかった：4人
システムの使い方自体が分かりにくかった：2人
- 自由意見 ⇒ 「教材を印刷したい」が多い

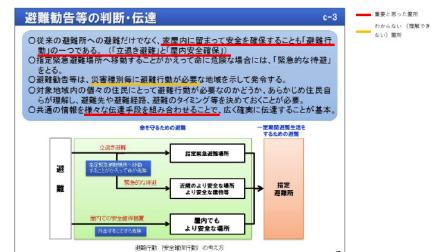
| | |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 仮想環境でインターネットを利用しているため、 <u>マーキングやメモ内容がログアウトと同時に保存できず不便でした。ダウンロード保存できた方が良い</u> と思います。 |
| 2 | <u>印刷できる方が良かった</u> です |
| 3 | <u>紙に印刷できる方が見やすい</u> と思いました。 |

<コーディネーター ヒアリング結果>

- BookRollのログの活用が難しい。
- 専門的な知識やこれまでの蓄積データとの比較などができるとよい。

<運営上の課題>

- マーカーが引かれた箇所のログは文字情報を講師に提供するためには手作業で資料を作成する必要があった。



手作業により資料作成

次年度の対応（案）

- 教材の閲覧は有効であり引き続き実施
- 提供方法については今後要検討

2. スケジュールについて

(1) 実施時期

<受講者アンケート結果>

- ・ 適切だと思う実施時期 :

研修の1ヶ月前 (今回と同じ) : 50.9%

研修の1ヶ月前 : 29.1%

(2) 実施期間

<受講者アンケート結果>

- ・ 適切だと思う実施期間 :

2週間 (今回と同じ) : 72.7%

1週間 : 16.4%

(3) 講師への結果の提供時期

<講師ヒアリング結果> (5人中) (その他1名は、直前に講師が変更になったため対象外)

- ・ 資料提出期限の1週間 (今回と同じ) : 3人
- ・ 資料提出期限の2週間前 : 2人

(4) コーディネーターへの結果の確認期間

<コーディネーター ヒアリング結果>

- ・ 1日では十分な確認ができないため、可能であればもう少し日数がほしい

次年度の対応 (案)

- ・ 実施時期 : 研修の1ヶ月前 (今回と同じ)
- ・ 実施期間 : 2週間 (今回と同じ)
- ・ 講師への提供時期 : 資料提出期限の1週間前 (今回と同じ)
- ・ コーディネーターの確認期間 : できれば5日
※実現するには、ログの入手期間が短いLMSに変更する必要がある。

3. ログの集計結果について

<講師ヒアリング結果>

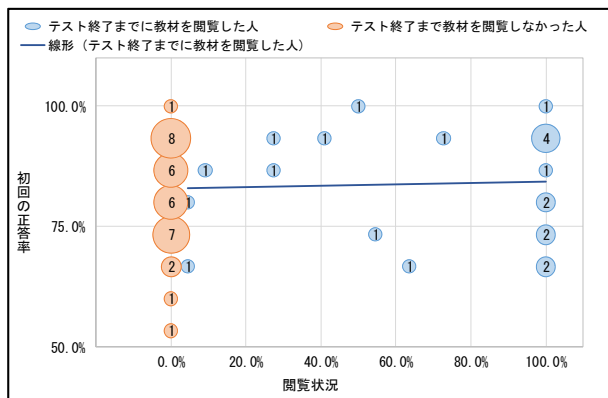
| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 活用した | <ul style="list-style-type: none"> eラーニングでテストした内容ぐらいは認知されていることが把握できたので、<u>講義の内容に問題は無いことを確認できた。</u> <u>基本的な知識は持っている受講者だということがわかった。</u> <u>基本的な知識だけでも理解できるよう、専門用語はなるべく使わず、簡単な言葉などで説明するように気を付けた。</u> <u>設問の内容が、講義資料に全て含まれていることを確認した。また、講義のなかで、設問の内容は、重点的に話した。</u> |
| 活用しなかった | <ul style="list-style-type: none"> 一通り目は通した。ただ、集計結果が送られてきたときのメール文を読んでも、<u>どう活用してよいのかわからなかったため、特に何もしなかった。</u> |

<コーディネーター ヒアリング結果>

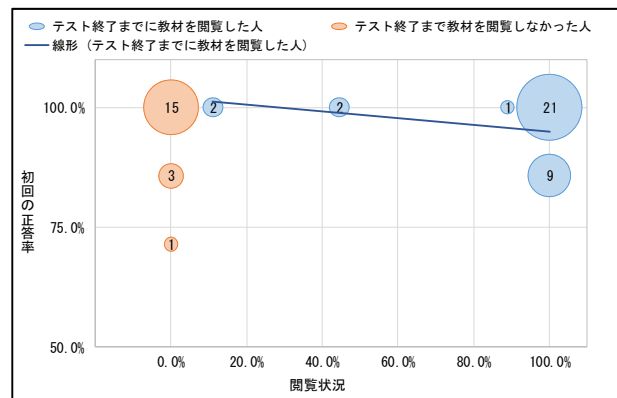
- 初回の正解率を見ても、講義資料や講義にどう反映してよいかわかりにくい。
- 間違えている人が、標準テキストなどの教材を読んでいる人なのか、読んでいない人なのかが分からないため、クロス集計が必要。

(参考) 初回の正答率と閲覧状況のクロス集計結果

参考までに、共通問題と個別問題(警報避難)それぞれの初回の正答率と、テスト終了までの教材の閲覧状況(教材を閲覧したページ分量の割合)とでクロス集計を行った。



共通問題①+②初回の正答率と閲覧状況



個別問題(警報避難)の初回の正答率と閲覧状況

※テストが途中の者は集計の対象外
※円の中の数字は人数を表す

次年度の対応 (案)

- 講師に具体的な活用方法(例)を提供する。
- LMSの検討と合わせ提供方法について改善を図る。

4. その他事前学習に関すること

<講師ヒアリング結果>

- 防災担当という立場、また、この研修に部下を送り出す立場を想定すると、基本的な問題だけでなく、難易度の高い問題も追加することで、受講者が事前に調べてきたり、講義を受ける際に興味をもって受講するなどが期待できるのではないか。
- eラーニングを受講することで、研修当日は、受講の意欲や課題意識がちょうど頂点に高まっているような仕組みにしてほしい。
- 具体的な災害事例を学べるようにしてはどうか。
- eラーニングではあえて格式ばった説明を載せて学習させて（わからないということを溜めさせて）、研修の講義で分かりやすく説明することで理解をしやすくするという方法もあるのではないか。
- eラーニング終了後に、受講者がわからないところ・重要と思うところなどを書き出す時間を設けるなど、復習する機会を作るとよい。

<コーディネーター ヒアリング結果>

- 問題のバリエーションや数をふやさなければならないが、単元1つあたり標準テキスト1枚からでは材料が少ないため作りにくかった。
- 標準テキストを読んできているかどうかを確認することが目的として設問を作成した。そのため、標準テキストに記載されている基本的な事項のみを問題とし、応用問題は出さなかった。
- 今回は、全問正解を目指した設問であるともいえるが、今後の設問では間違えてもよいことを前提とすると、設問の幅は広がる。
- 来年度以降、別のコースでも展開するとなると、コースによって難易度や設問作成の考え方にバラつきが出てくる恐れがある。設問作成時の方針等、統一した考え方を各コースコーディネーターに示す必要があると思われる。

5. 次年度の実施方針(案)

【第1期】

- 「警報避難」の内容を改善し、実施。
- LMSを調査し、課題が解決できるより良いLMSがあれば利用する。（なければ、現在と同じLMSを利用）

【第2期】

- 「警報避難」に加えて下記の5コースで実施※したい。
 - ・ 防災基礎
 - ・ 災害への備え
 - ・ 応急活動・資源管理
 - ・ 被災者支援
 - ・ 復旧・復興

※「事前学習」を実施しているコース

<第2期実施に向けて>

- ・ 事前学習用の「テスト作成マニュアル」を準備する。
- ・ 第2期の実施に向け、年度当初から作成に着手。